





4 代 替 案

高層部の代替案

項目	ミニハイブリッドシステム 真空式車庫収集システム	ごみ貯留システム ごみドラム	ごみ保管庫	ごみステーション 集合住宅等の共用スペースの一角にごみ集積場所を指定し、指定場所の固いのみを回収又は屋根付圓いを設置する。	ごみボックス（共用階）	ダストシュート
概要	<p>集合住宅などのシステム下層に設置したタンクにごみを収集日まで貯留し、ごみは真空吸引車で吸引収集する。</p> 	<p>集合住宅等の共用スペースに設けられた投入口からごみを入ると、ロータリー式のドラムがごみをおよそ2分に1回ごみ出しができる。ごみ出しができる。</p> 	<p>集合住宅等の共用スペースの一角にごみ集積場所を指定し、ごみ保管庫を設置する。</p> 	<p>戸建共済連住宅の共用階にごみ集積場所を指定し、ごみボックスを設置する。収集日には共用階のゴミを収集する。戸建共済連高層住宅には適用できない。</p> 	<p>既設の投入管をダストシュートとして再利用し、最上階に集積所を設置する。昭和30年代の公園住宅などでは広く採用されていたが、防炎や衛生面から、最近では採用されることは少ない。</p> 	<p>大規模な設置工事は不要である。 収集は他地域と同じ車両収集となる。</p>
メリット	<p>集合住宅用のシステムであり、住戸にとって現場ハイブリッドシステムと同様の使い勝手となる。</p> <p>いつでもごみ出しができ、ごみの散乱がなく、臭いを抑え、衛生的に収集できる。</p> <p>上層階からでも直接投入できる。</p>	<p>集合住宅用の設備であり、収集日にごみの散乱がない。</p> <p>大規模な設置工事は不要である。</p> <p>収集は他地域と同じ車両収集となる。</p>	<p>主に集合住宅用の設備であり、収集日にごみの散乱がない。</p> <p>大規模な設置工事は不要である。</p> <p>収集は他地域と同じ車両収集となる。</p>	<p>集合住宅及び中・低層住宅に適用できる。</p> <p>大規模な設置工事は不要である。</p> <p>収集は他地域と同じ車両収集となる。</p>	<p>大規模な設置工事は不要である。</p> <p>収集は他地域と同じ車両収集となる。</p>	<p>大規模な設置工事は不要である。 収集は他地域と同じ車両収集となる。</p>
デメリット	<p>既ハイブリッド施設と似たようなシステムではあるが、ごみ処理設備やパイプ径が異なるため、新設工事が必要である。</p> <p>収集車両が専用車両であるため、購入が必要である。</p> <p>園内での導入実績が少ない。</p> <p>他地域と同じ車両収集となるが、専用車両であるため、車両維持費が他の車両維持費より高くなる。</p> <p>電気及び水を確保する必要がある。</p> <p>ごみ貯留タンクの容量が既施設とほぼ同じであるため、1日2回収集が必要となる。</p>	<p>強風対策が必要である。</p> <p>ごみ保管庫の衛生管理に留意する必要がある。</p> <p>ごみ収集車が入り可能な箇所に設置する必要がある。</p>	<p>強風対策が必要である。</p> <p>ごみ保管庫の衛生管理に留意する必要がある。</p> <p>ごみ収集車が入り可能な箇所に設置する必要がある。</p>	<p>ガラスや種などによるごみ散乱対策が必要である。</p> <p>ごみ収集車が入り可能な箇所に設置する必要がある。</p>	<p>強風対策が必要である。</p> <p>ごみボックスの衛生管理に留意する必要がある。</p> <p>ごみ収集に各共用階まで複数回往復するため、収集に長時間かかる。</p> <p>ごみ収集車がエレベーター前に長時間停車する。</p> <p>ごみ収集日は住民とエレベータを共用することになる。</p> <p>前芦屋系は共用階が無いため適用できない。</p> <p>芦屋系は構造上適用できない。</p>	<p>ごみ集積所の敷地やエレベータの養生などがあるため、衛生管理に十分留意する必要がある。</p> <p>既設の投入管の位置よるため、ごみ収集車が近づけない箇所がある。</p> <p>既設の時留機出機と同時設置のごみ集積所となるため、1日2回収集が必要となる。</p>
改修工事	<p>1,516,440千円</p> <p>市</p>	<p>1,505,100千円</p> <p>住民</p> <p>(維持費：およそ400千円/箇所・年)</p>	<p>74,844千円</p> <p>住民</p>	<p>31,892千円</p> <p>住民</p>	<p>54,915千円</p> <p>住民</p>	<p>22,464千円 + α</p> <p>住民</p>
管理区分	市	住民	住民	住民	住民	住民
維持管理	機器、パイプライン、真空式ごみ収集車のメンテナンス	ごみドラム、収納建屋のメンテナンス	事後保全	事後保全	事後保全	事後保全
案 考	少ない	集合住宅付庫設備として多い	集合住宅付庫設備としてきわめて多い	集合住宅付庫設備としてきわめて多い	無い	最近では無い

中・低層部の代替案

項目	中 層 部			低 層 部		
	ごみ保管庫	ごみステーション	ボックスタイプのごみ箱	ボックスタイプのごみ箱	メッシュタイプのごみ箱	場所指定のみ
概 要	集合住宅等の共用スペースの一角にごみ集積場所を指定し、ごみ保管庫を設置する。 	集合住宅等の共用スペースの一角にごみ集積場所を指定し、指定場所の囲いのみを設置又は屋根付囲いを設置する。 	ボックスタイプのごみ箱を設置するもの。   	ボックスタイプのごみ箱を設置するもの。  	メッシュタイプのごみ箱を設置するもの。 	場所指定のみ 現役入口を撤去した場所にごみ集積場所を指定するもので、カラス対策用ネットを設ける。 
メリット	主に集合住宅用の設備であり、収集日にごみの散乱がない。 大規模な設置工事は不要である。 収集は他地域と同じ車両収集となる。	集合住宅及び中・低層住宅に適用できる。 大規模な設置工事は不要である。 収集は他地域と同じ車両収集となる。 ごみの散乱がない。 町の景観にあまり影響がない。	大規模な設置工事は不要である。 収集は他地域と同じ車両収集となる。 ごみの散乱がない。 町の景観にあまり影響がない。	大規模な設置工事は不要である。 収集は他地域と同じ車両収集となる。 ごみの散乱がない。 町の景観にあまり影響がない。	大規模な設置工事は不要である。 収集は他地域と同じ車両収集となる。 ごみの散乱がない。 町の景観にあまり影響がない。	設置工事は不要である。 収集は他地域と同じ車両収集となる。 町の景観に影響がない。
デメリット	強風対策が必要である。 ごみ保管庫の衛生管理に留意する必要がある。 ごみ収集車が進入可能な箇所に設置する必要がある。	カラスや猫などによるごみ散乱対策が必要である。 ごみ保管庫の衛生管理に留意する必要がある。 ごみ収集車が進入可能な箇所に設置する必要がある。 通行人等がごみをポイ捨てする可能性がある。 設置する場所がない。 (現役入口のある歩道や植込み内には設置できない。)	強風対策が必要である。 ごみ保管庫の衛生管理に留意する必要がある。 通行人等がごみをポイ捨てする可能性がある。 設置する場所がない。 (現役入口のある歩道や植込み内には設置できない。)	強風対策が必要である。 ごみ保管庫の衛生管理に留意する必要がある。 通行人等がごみをポイ捨てする可能性がある。 設置する場所がない。 (現役入口のある歩道や植込み内には設置できない。)	収集日はごみ袋が目に入る。 カラスや猫などによるごみ散乱対策が必要である。	
改修工事 ※現施設設備去費別	保管庫タイプのごみ箱、ごみ箱置場の整備 6,300千円	ごみステーションの整備 3,052千円	ボックスタイプのごみ箱、ごみ箱置場の整備 49,644千円	ボックスタイプのごみ箱、ごみ箱置場の整備 35,532千円	ネット代のみ 680千円	
管理区分	住民 事後保全	住民 事後保全	市・住民 事後保全	市・住民 事後保全	住民 事後保全	
実 績	集合住宅付属設備としてきわめて多い	集合住宅付属設備としてきわめて多い	多い	多い	きわめて多い	

5 他都市の事例

他都市の事例

施設名	所在地	稼働開始年月	規模※1	計画 ごみ量 t/日※1	平成4年(1992)12月現在※1	平成25年度(2013)現在	状況	廃止等の理由
森の宮第2市街地 (単独)	大阪市	76.6 (S51.6)	5ha 高層 2008戸	4	稼働中	廃止 H24(2012)12月	森の宮工場廃止に伴う廃止	同左
南港ホトタウン (ハイロット)	大阪市	77.12 (S52.12)	100ha 高層 10416戸 商業等 1万㎡	30	稼働中	稼働中 廃止予定 H27年度(2016)	平成23年度の事業仕分けで「不要(廃止)」の決定	老朽化、多額の経費
芦屋シーサイドタウン (ハイロット)	芦屋市	79.4 (S54.4)	125ha 高低層 5700戸 商業等 3万㎡	27.5	稼働中	稼働中		
住 宅 団 地 (8 件)	札幌市	89.6 (H1.6)	50ha 中低層 1730戸 商業等 4万㎡	9.3	稼働中	廃止 H24(2012)9月	平成19年度行政評価(市民評価)によりあり方を検討すること。 平成19年度外部の行政評価委員会より廃止すべきとの指摘	老朽化に伴う維持管理費の増加や更新経費 分別収集と逆行し、一部地域のみに限られていた
	長岡市	88.4 (S63.4)	92ha 中低層 1500戸 商業等 6万㎡	13	稼働中	稼働中	穴あきは発生していない。	
	千葉県 富里市	78.6 (S53.6)	100ha 中低層 3950戸	16	稼働中	稼働中	市の施設ではなく、管理をしていない。 住民が組合を立ち上げ管理している。 市は、一部補助している。	
	伊丹市	89.5 (H1.5)	6ha 人口 600人 世帯 150	1.1	稼働中	一部稼働中 更新はしない	ほとんどが公営住宅である。 廃止の協議を進める。 平成27年度に収集車の更新時期になる。	老朽化、多額の経費 分別収集が困難
	熊本市	91.7 (H3.7)	14ha 人口 2200人 世帯 716	1.1	稼働中	廃止 H21(2009)3月		
	多摩市	83.4 (S58.4)	82ha 中低層 1200戸 商業等 53万㎡	58	稼働中	廃止 H17年(2005)3月		循環型社会の流れ、機器の老朽化より更新が 必要になってきたため、廃止した。
商 業 ・ 業 務 地 区 (5 件)	つくば市	83.6 (S58.6)	72ha 中低層 1700戸 商業等 42万㎡	41	稼働中	廃止 H21(2009)3月31日	平成16年度外部監査(行政評価)により廃止すべきとの指摘	循環型社会の流れ、機器の老朽化より更新が 必要になってきたため、廃止した。
	横浜市	91.4 (H3.4)	180ha 就業 19万人 住居 1万人	160	稼働中	稼働中 廃止予定 H29年度(2017)	平成19年度外部監査により廃止すべきとの指摘有り 平成22年度劣化診断及び使用者の意向調査実施 外部監査により廃止年度を早めるよう指摘	循環型社会の流れ、赤字事業で黒字転換が厳しい
	千葉県 印西市	81.1 (S56.10)	107ha 住居 2.6万人	60	稼働中	稼働中	企業庁が管理していたが、市に移管する際に、住民負担を 提案。住民側は反対し、県も費用負担する方向で調整中。 住民団体「葛張ベイタウン協議会」から意見書	商業地区の手数料収入の戻込み減 管理者の変更(企業庁解体し市に移管。)
	千葉県 印西市	95 予定 (H7)	139ha 商業、住宅等	35	95 予定 (H7)	廃止 H23年度(2011)3月	平成14年度 外部検討会「空気輸送検討会」から提言 平成19年度 市が基本方針を決定	循環型社会の流れ、機器の修繕や更新問題など を考慮し持続性を担保できないため、廃止。

※1 第15回全国都市清掃研究発表会講演論文集 平成6年2月(1994.2.)より

6 車両収集との差額

車両収集との差額

項目	ケース1	ケース2
差額の範囲	車両収集にかかる維持管理費とパイプライン経費(維持管理費+大規模補修工事費+更新工事費)との差額とする。	車両収集にかかる維持管理費とパイプライン収集にかかる維持管理費との差額とする。
差額の算定	平成18年度から平成24年度における平均とする。	
	差額は1人当たり、1ton当たりのごみ収集経費を基準にして計算する。	
1人当たりの差額 (円/月)	3,432円/月	472円/月
1kg当たりの差額 (円/kg)	234円/kg	43円/kg
備考	パイプライン施設は地域が限定されているインフラのため、大規模補修工事費及び更新工事費も含める。	市内全域に適用されたインフラの場合。

※平成25年度は工事の関係で金額が大きいため、計算からは除外しました。

7 市民アンケート

芦屋市 ごみの収集方法に関するアンケート調査について

調査ご協力をお願い



市民の皆様には、日ごろから環境行政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、本市では、市民の皆様から排出されたごみは、ごみ収集車で収集する方法と、市内の一部をパイプライン施設で収集する方法で実施しています。



パイプライン施設によりごみを収集している地域は、芦屋浜と南芦屋浜地域の一部（以下、「パイプライン収集地域」といいます。）で、この収集方法により地域の良好な住環境が促進されています。

しかし、ごみの減量化など社会情勢の変化等により、パイプライン施設によるごみの収集は、ごみ収集車による収集と比べてランニングコストが2倍強と割高になっており、また、今後は老朽化に伴う施設の大規模改修や建替には、多額の費用が必要になります。

全国的に見ても、施設の老朽化やリサイクルの潮流等が原因で計画を見直している自治体が多くなっています。このようなことから、現在、本市ではパイプライン施設のあり方を検討しています。

パイプライン施設のあり方は、パイプライン収集地域の方だけの問題ではなく、市民の皆様のご大切な税金の使い方を決める重要なことでもあります。そのため本調査は、市内全域を対象に市民の皆様のご意見をお聞きし、今後のパイプライン施設のあり方を検討するための参考資料とさせていただくものです。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をいただければ幸いに存じます。

なお、ご回答いただいた内容は、本調査の目的以外での利用や個人を特定した内容を外部に漏らすことは一切ありません。

平成 27 年 1 月

芦屋市 市民生活部 環境施設課

※ ご記入いただいた後、調査票のみ同封の返信用封筒に入れて 1 月 23 日（金） までにポストにご投函ください。

パイプライン施設とは

1 施設概要

パイプライン収集地域では、住民は毎日の燃やすごみを近くの投入口に投棄するだけです。

なお、パイプラインに投入できない燃やさないごみ等は、ごみ収集車による収集を行っています。



投入口

投入口に投棄されたごみは、地下に埋設された輸送管を通して電気掃除機の原理で環境処理センターまで運ばれます。不快な悪臭もなく、まちが汚れることもなく、また、家庭でごみを貯めておく必要もないため、この収集方法により地域の良好な住環境が促進されます。

2 施設構成

パイプライン施設は、おおまかに、以下の施設で構成されています。

(※印は、3 ページに説明写真あり)

(1) 投入貯留施設

投入口※：利用者のごみ投入部（芦屋浜地域 181 箇所、南芦屋浜地域 161 箇所）

貯留排出機※：投入後、一時的にごみを貯留する装置

(2) 運搬施設

輸送管※：ごみ輸送用の流路となる管（芦屋浜地域 約 12km、
南芦屋浜地域 約 7.6km）

遮断弁：地区を区切るための輸送管路の遮断装置

(3) 収集センター施設（環境処理センター内）

分離機※：運ばれてきたごみ・空気を分離する装置

防塵機：分離された空気中の粉塵を除去する装置

ブロワ※：ごみを運ぶため、輸送管内に空気流と負圧を発生させる装置

脱臭装置：活性炭による悪臭除去装置

貯留ドラム：分離されたごみや粉塵を貯留し排出する装置

中央制御装置：運転制御や監視・表示を行う装置



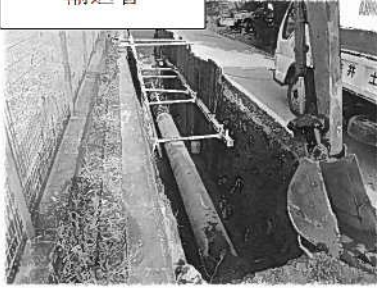
収集センター

施設構成 (略図)

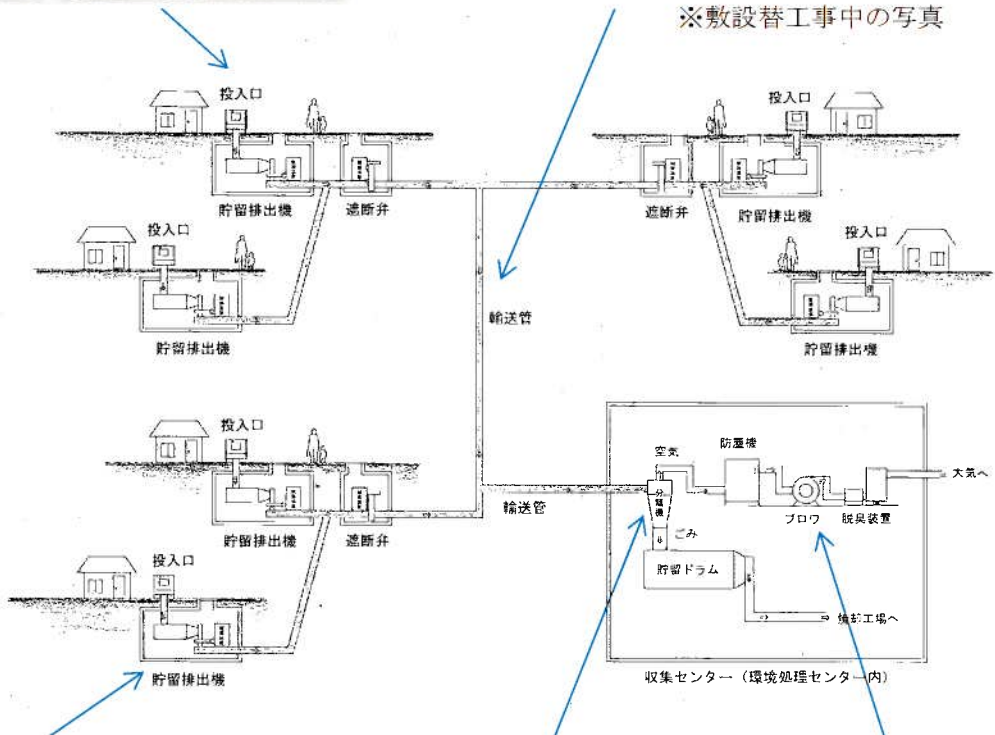
投入口



輸送管



※敷設替工事中の写真



貯留排出機



分離機



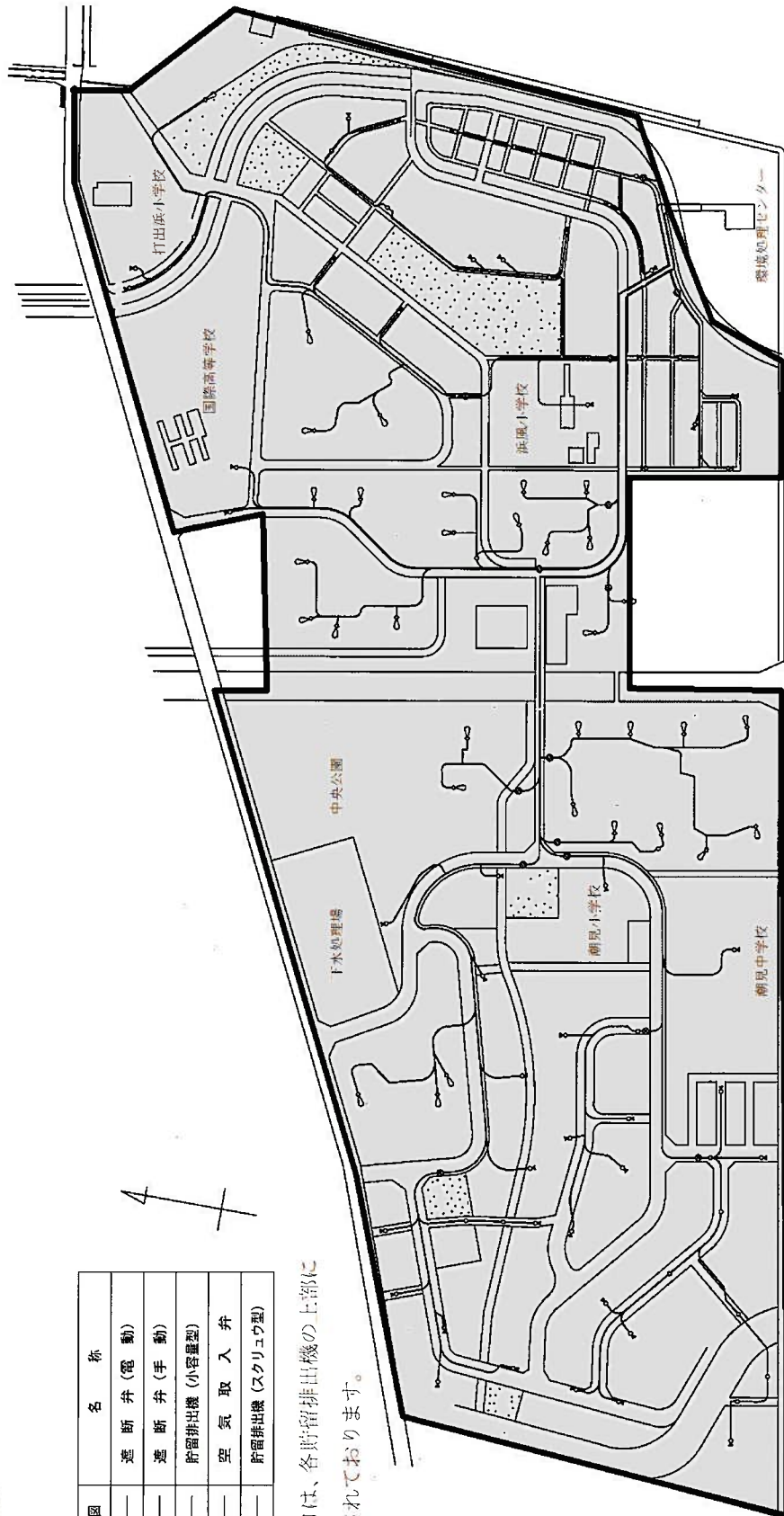
ブロウ

パイプライン収集地域の敷設状況

① 芦屋浜地域

機器略図	名称
—○—	遮断弁(電動)
—⊗—	遮断弁(手動)
—○—	貯留排出機(小容量型)
—▷—	空気取入弁
—○—	貯留排出機(スクリュウ型)

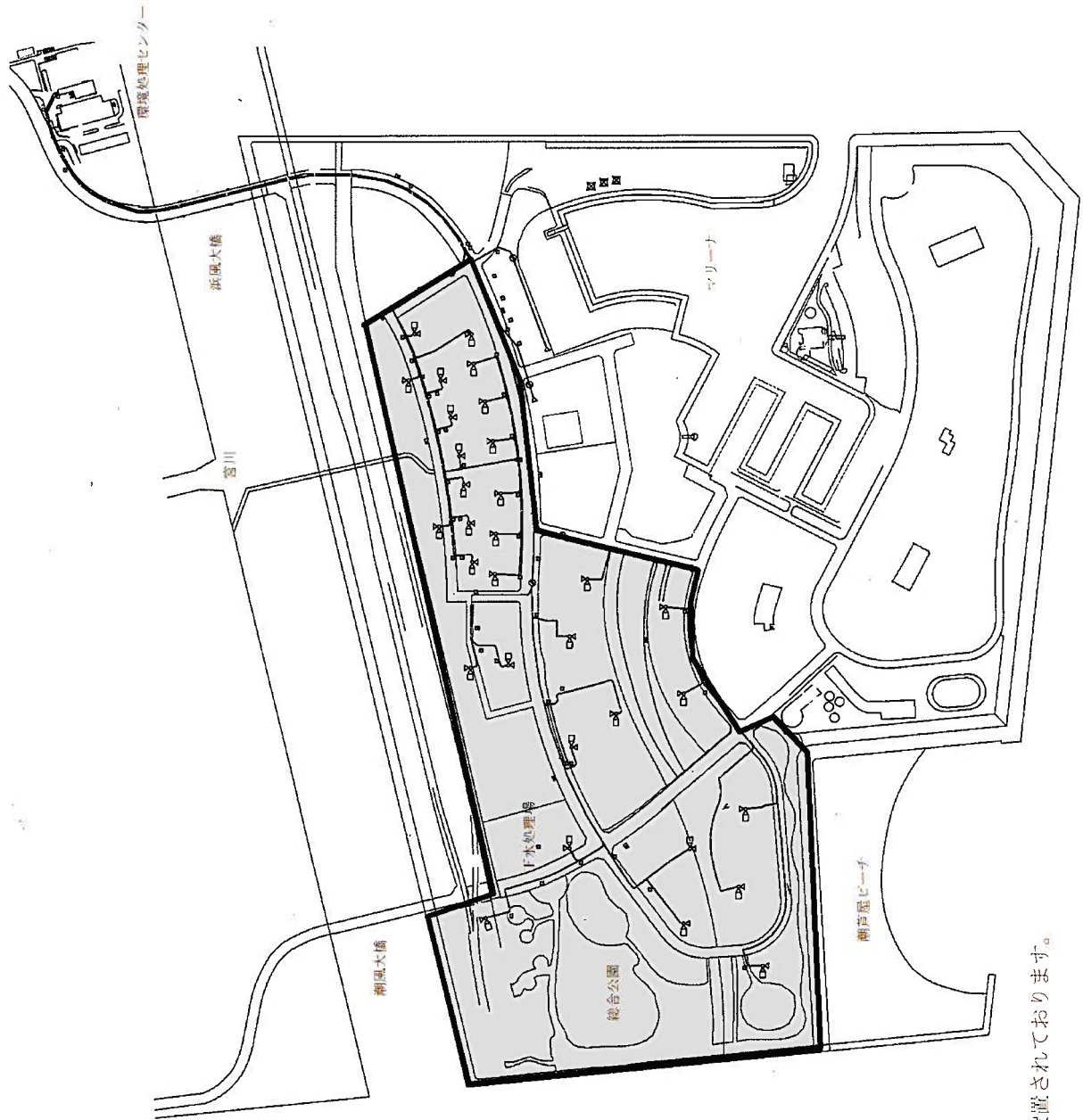
投入口は、各貯留排出機の上部に設置されております。



舊川

※塗りつぶしは、現在パイプラインが敷設されている箇所

②南芦屋浜地域



機器略図	名称
—○—	遮断弁(電動)
⊠	貯留排出機(ドラム型)

投入口は、各貯留排出機の上部に設置されております。

※塗りつぶしは、現在パイプラインが敷設されている箇所

パイプライン施設のあり方については、廃棄物運搬用パイプライン施設検討委員会で議論しています。市ホームページに掲載しておりますので、参考にしてください。

「芦屋市廃棄物運搬用パイプライン施設検討委員会」で検索していただくか、下記アドレスを入力してください。

<http://www.city.ashiya.lg.jp/kankyoushori/fuzokukikan/pipeline.html>



(写真：環境処理センター)

【 ご記入にあたって 】

- 1 お答えは、郵送させていただいた宛名のご本人が、この調査票に直接ご記入ください。
(ご本人がご記入いただけない場合は、ご家族の方が代筆していただいても結構です。)
- 2 ご記入は、黒のボールペン又は、濃い鉛筆でお願いします。
- 3 各質問のお答えは、あてはまる選択肢の数字に○印をつけていただくものや、具体的に記入していただくものなどがあります。質問の中でお願いしている方法をご確認のうえお答えください。
- 4 記述式の記入枠が不足する場合は、用紙(A4)を追加してご記入ください。
- 5 ご記入済の調査票は、同封の返信用の封筒に入れて、ポストにご投函ください。
- 6 本調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

(お問い合わせ先)

芦屋市 市民生活部 環境施設課 (施設名称：芦屋市環境処理センター)

TEL : 0797-32-5391 FAX : 0797-22-1599

〒659-0032 芦屋市浜風町 31-1

調査票

パイプライン施設のことについておたずねします

問1 このアンケートにご協力いただくまで、あなたは、芦屋浜や南芦屋浜の一部地域で、燃やすごみは、ごみ収集車ではなくパイプライン施設による収集が行なわれていることを知っておられましたか。(どれか一つに○)

- 1 知っていた → 問2へ進んでください。
 - 2 聞いたことはあるがよく知らなかった
 - 3 知らなかった
- } → 問3へ進んでください。

問2 問1で「1 知っていた」と答えた方にお伺いします。

パイプライン施設を使っていますか。又は使ったことがありますか。(どれか一つに○)

- 1 現在、使っている
- 2 過去に使ったことがある
- 3 使ったことがない
- 4 その他 ()

問3 パイプライン収集と車収集の利便性についてお伺いします。(どれか一つに○)

- 1 パイプライン収集の方が、大変便利だと思う
- 2 パイプライン収集の方が、まあまあ便利だと思う
- 3 利便性に違いがないと思う
- 4 車収集の方が、まあまあ便利だと思う
- 5 車収集の方が、大変便利だと思う
- 6 わからない

※ 上記の設問で回答項目(1~6)を選ばれた理由を教えてください。

[]

※ ご意見(ご自由にお書きください)

[]

調査票

問4 パイプライン施設は、まちづくりの一環で導入され、パイプライン収集により地域では良好な住環境が促進されています。

一方、パイプライン施設を安定して継続していく場合、老朽化に伴う大規模改修や建替が必要になり多額の費用がかかります。

パイプライン施設は、今後どうあるべきだと思いますか。(どれか一つに○)

- 1 大規模改修や建替をして継続
- 2 大規模改修や建替をせずに当面継続し、施設が壊れた箇所の地域から順次廃止
- 3 今後、一定の時期に全域を廃止 → 一定の時期とは、約()年後
- 4 今すぐにでも全域を廃止
- 5 その他()
- 6 わからない

※ 上記の設問で回答項目(1~6)を選ばれた理由を教えてください。

()

※ ご意見(ご自由にお書きください)

()

問5 普段、ごみについて意識されていることをお伺いします。

(下記設問a~eそれぞれについて、右の1~5のそうだと思うところに○)

	そのとおり	ややそうだ	どちらでもない	ややちがう	ちがう
a 日頃からごみの減量化を心掛けている	(1	2	3	4	5)
b ごみの分別をしっかり行なっている	(1	2	3	4	5)
c 地域の集団回収に参加している	(1	2	3	4	5)
d マイバッグを持って買い物に行く	(1	2	3	4	5)
e ごみ出しのルールをよく理解している	(1	2	3	4	5)

※ ご意見(ご自由にお書きください)

()

ご意見

その他ご意見があれば自由にお書きください。

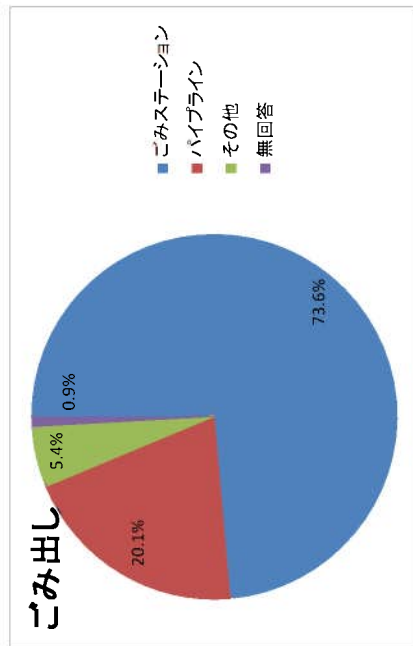
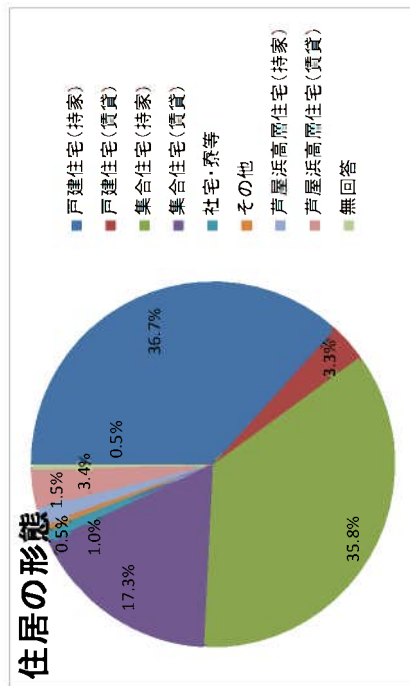
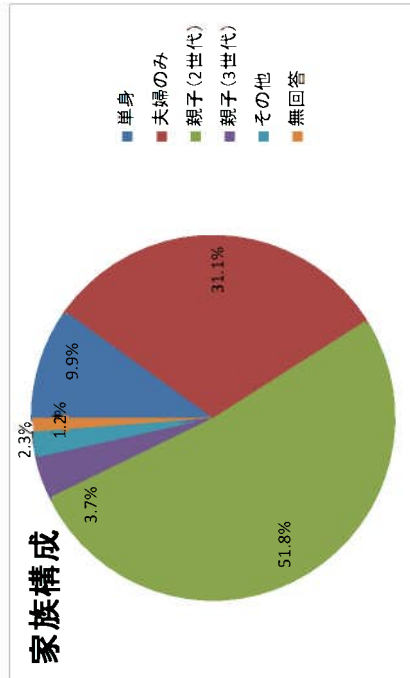
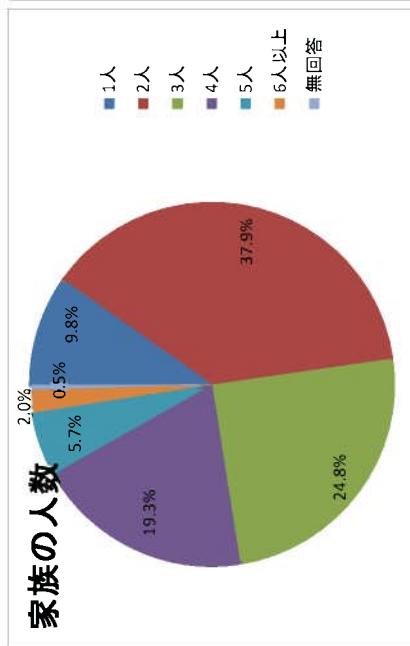
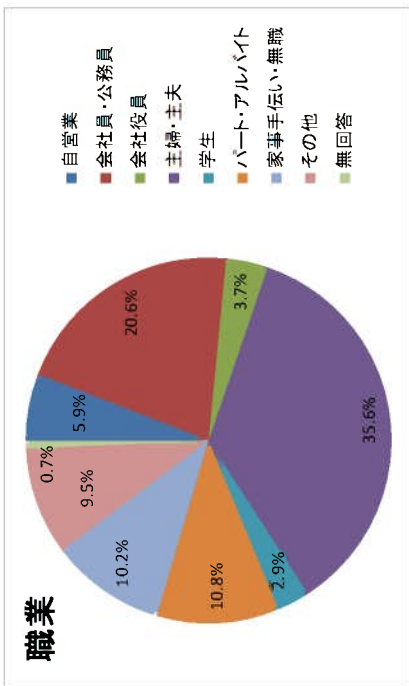
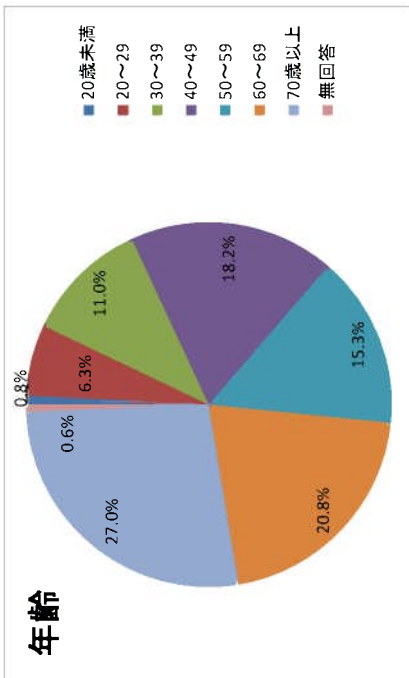
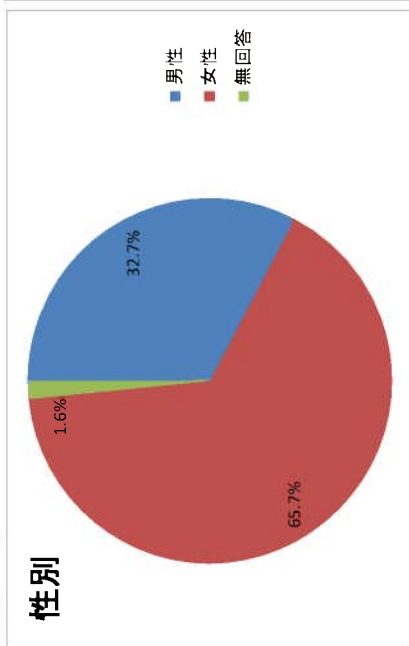
なお、ご意見については個別に回答は致しません。ご了承ください。

お忙しいなか、調査にご協力いただき、まことにありがとうございました。

お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて1月23日(金)までにポストにご投函下さい。

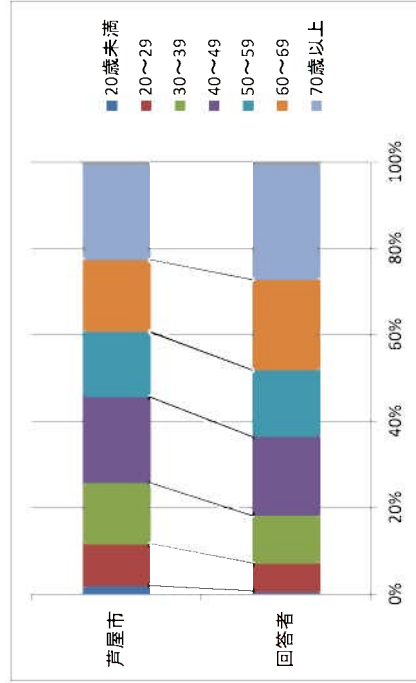
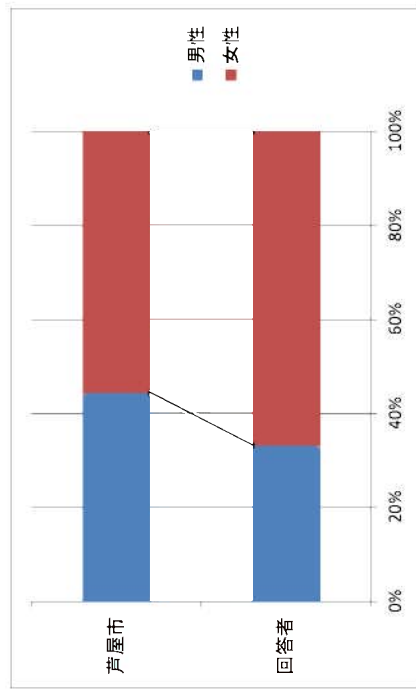
8 市民アンケート結果

調査票発送数：2,000人
回収数：1,094人（回収率：54.7%）
回答者の属性

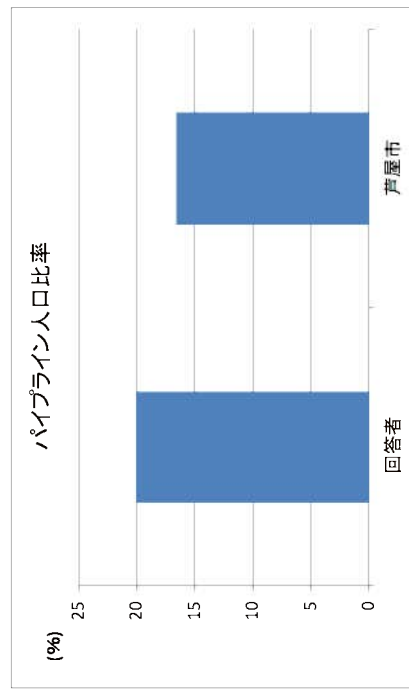


回答者の属性と芦屋市全体との比較

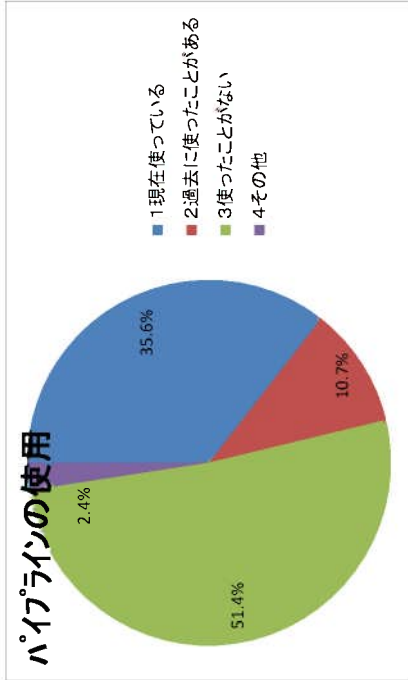
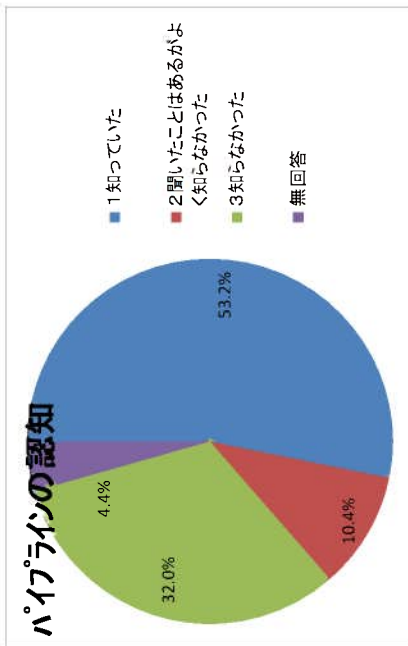
性別及び年齢別は、平成27年1月31日現在での比較



パイプライン人口比率は、平成25年度実績での比較

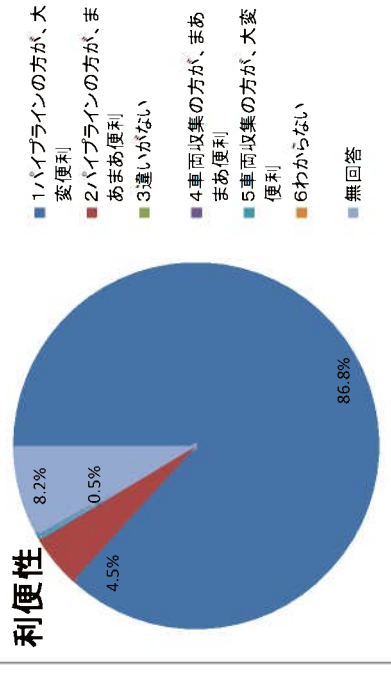
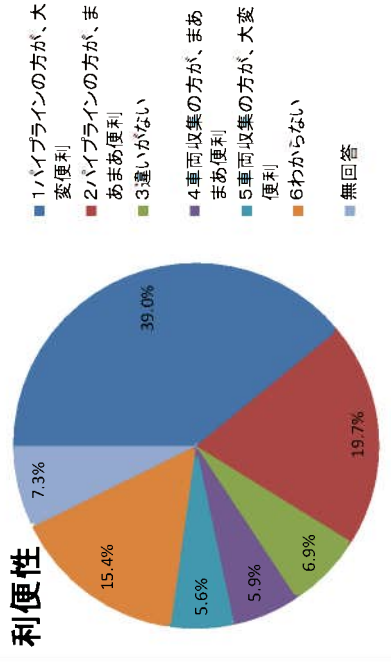


パイプラインを知っていた人の内訳

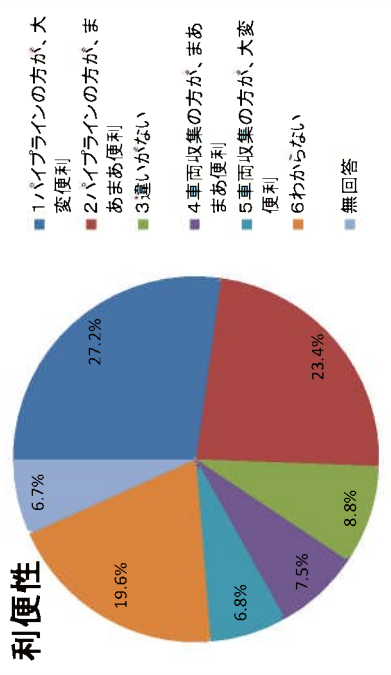


全体

<パイプライン地域>



<パイプライン地域以外>



「利便性」の回答理由

【パイプラインが大変便利・まあまあ便利 171件】

- ・いつでも捨てられる 107件
- ・ごみを貯めなくてよい 22件
- ・衛生的、臭いの心配がない 14件

【違いがない 0件】

【車両収集が大変便利・まあまあ便利 1件】

- ・定期的な収集の方が効率的 1件

【パイプラインが大変便利・まあまあ便利 368件】

- ・いつでも捨てられる 204件
- ・ごみを貯めなくてよい 49件
- ・カラスの被害がない 42件

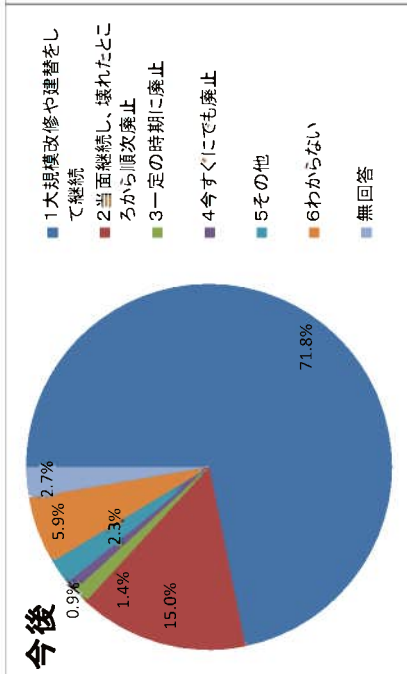
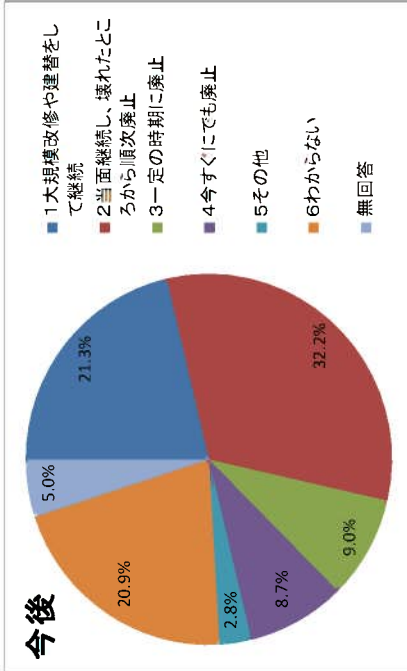
【違いがない 58件】

- ・利便性は同じ 42件

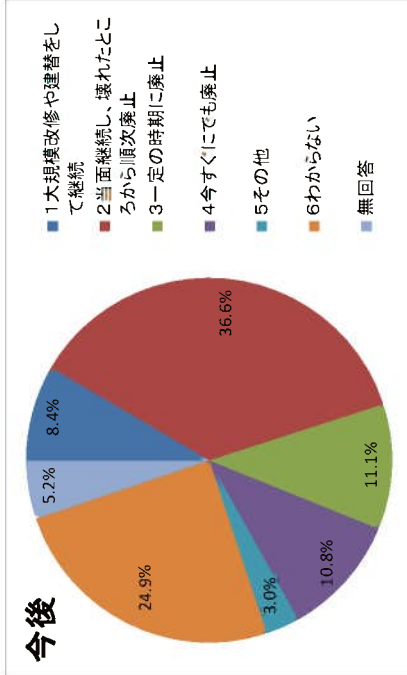
【車両収集が大変便利・まあまあ便利 100件】

- ・パイプラインは高コストのため 30件
- ・パイプラインの故障や制約等 26件
- ・現状で満足している 18件

<ハイブライン地域>



<ハイブライン地域以外>



「今後のあり方」の回答理由

【改修して継続 130件】	【改修して継続 49件】
・ハイブラインがあるから入居した	・廃止するのはもったいない
・便利だから	・便利だから
・住環境が良好	・一部でも良好な住環境を維持すべき
【当面継続 27件】	【当面継続 252件】
・多額の費用がかかるのならば方がない	・多額の費用がかかるから
・使える限り使いたい	・税金、住民サービスが不公平
・利用者のマナーが悪いので仕方がない	・すぐ廃止では利用者が困る
【一定時期に廃止 2件】	【一定時期に廃止 81件】
・使えるものは使い無用な費用を抑制	・多額の費用がかかるから
・廃止までの周知徹底期間	・税金の投入は不公平
【今すぐにも廃止 2件】	【今すぐにも廃止 82件】
・多額の費用がかかるから	・廃止には準備期間がいる
	・多額の費用がかかるから
	・税金の投入は不公平
	・サービスが不公平
	【改修して継続 14件】
	・他の予算をカットしてでも継続を
	【当面継続 61件】
	・高コスト、不公平
	【一定時期に廃止 32件】
	・高コスト、不公平
	【今すぐにも廃止 27件】 税金の無駄使い等

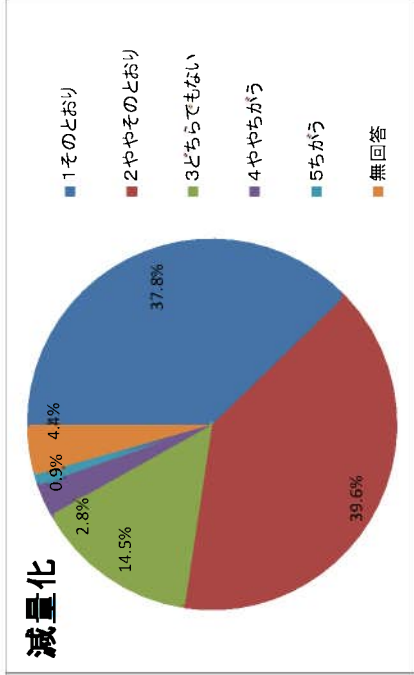
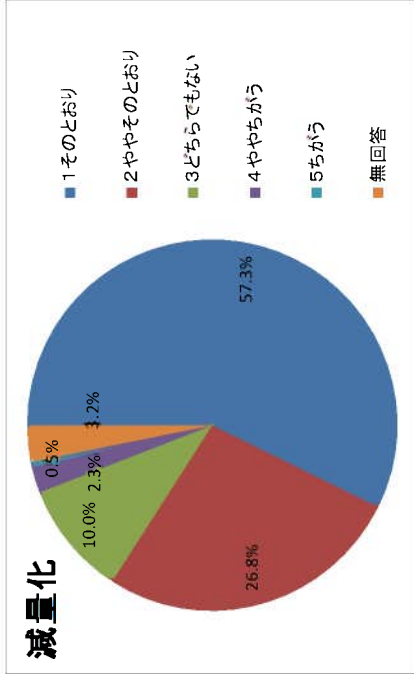
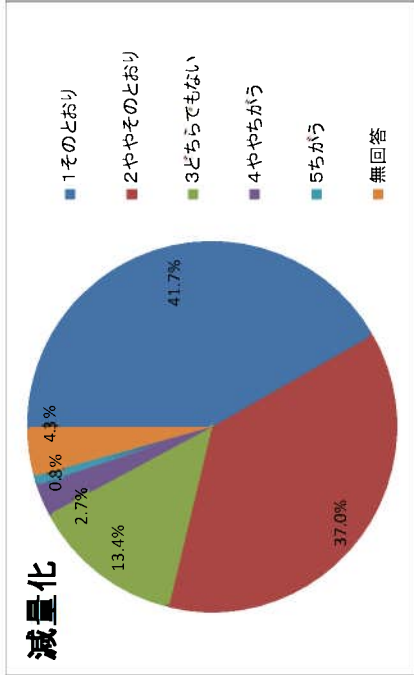
「今後のあり方」での意見

【改修して継続 49件】	【改修して継続 14件】
・費用負担してでも継続を	・他の予算をカットしてでも継続を
【当面継続 4件】	【当面継続 61件】
・公平から仕方がない	・高コスト、不公平
【一定時期に廃止 1件】	【一定時期に廃止 32件】
・コストのかからない方を希望	・高コスト、不公平
【今すぐにも廃止 1件】	【今すぐにも廃止 27件】 税金の無駄使い等

全体

<バイブライイン地域>

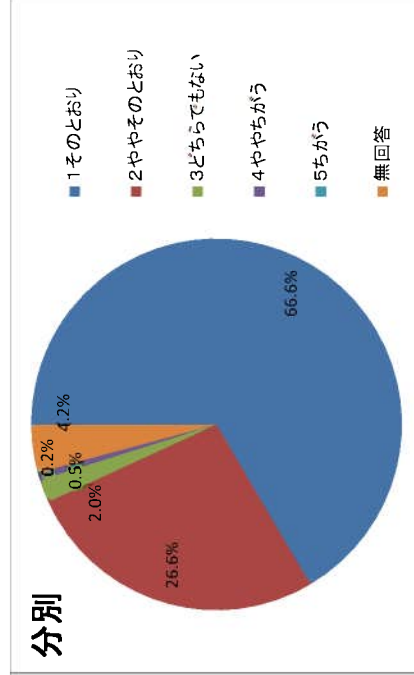
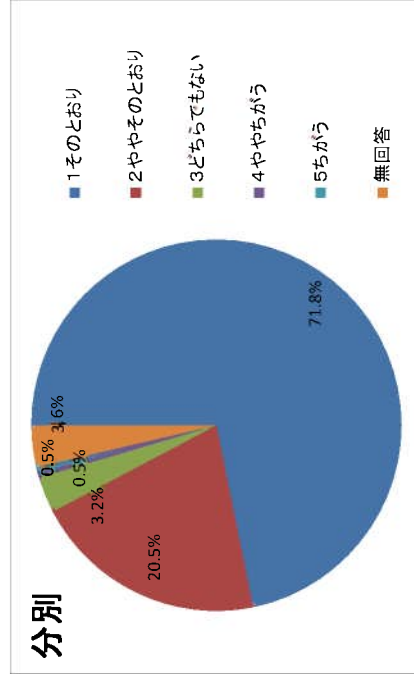
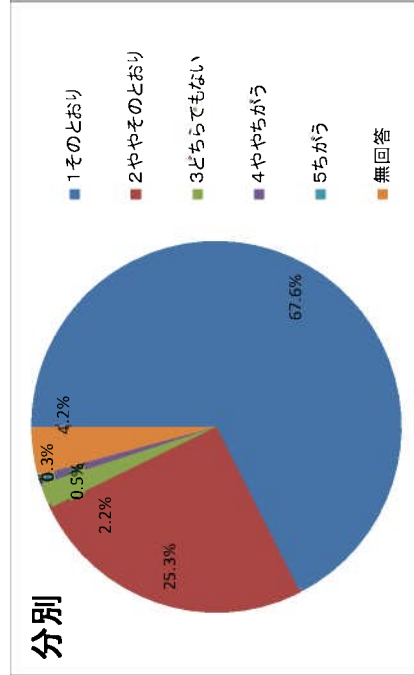
<バイブライイン地域以外>



全体

<バイブライイン地域>

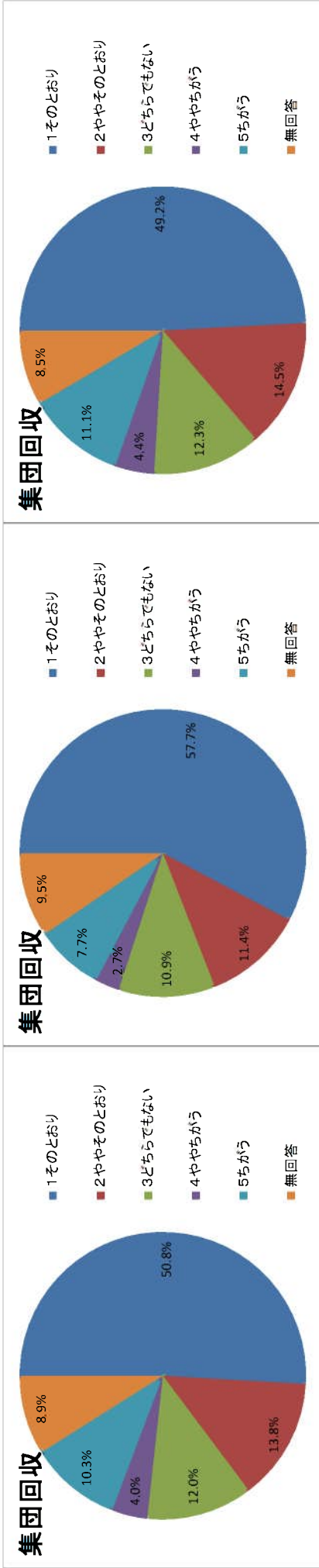
<バイブライイン地域以外>



全体

<ハイブライイン地域>

<ハイブライイン地域以外>



全体

<ハイブライイン地域>

<ハイブライイン地域以外>

